



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社セキュアヴェイル 上場取引所 東  
コード番号 3042 URL https://www.secuavail.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米今 政臣  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部マネージャ (氏名) 林 泰弘 TEL 06-6136-0026  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	465	△8.9	△52	—	△51	—	△53	—
2024年3月期中間期	510	1.7	△32	—	△35	—	222	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △54百万円 (—%) 2024年3月期中間期 78百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△7.01	—
2024年3月期中間期	28.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,305	1,090	83.5
2024年3月期	1,482	1,145	77.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,090百万円 2024年3月期 1,144百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,240	12.8	50	—	48	—	33	△85.6	4.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	7,690,000株	2024年3月期	7,690,000株
2025年3月期中間期	448株	2024年3月期	448株
2025年3月期中間期	7,689,552株	2024年3月期中間期	7,689,552株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提条件及びその他関連する事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、インバウンド需要等もあり、景気は正常化に向けて緩やかに回復していますが、物価上昇率の高まりや急激な為替レートの変動、また、中国や欧米の経済、中東地域をめぐる情勢などにおける先行き不透明感など、依然不安定な状況が続いています。

ネットワークセキュリティ業界に関しては、ランサムウェアの攻撃によって、企業活動を一時停止せざるを得ないほどの甚大な被害の報道もあり、ネットワークセキュリティを経営課題とする経営者の意識が更に高まっています。

そういった状況で、セキュアヴェイルグループは、マネージド・セキュリティサポートプロバイダーとして、お客様のシステムセキュリティを確保し、事業運営を安心して継続できる「安全」で「お役に立てるサービス」を提供する会社として、末永くお付き合いいただける企業を目指す「原点回帰」を今期のグループテーマとしました。また、企業や組織におけるクラウド活用が進みゼロトラストセキュリティの考え方が浸透する状況で、Microsoft365やBoxといったクラウドサービスを対象にしたログ分析サービスや、生成AIを活用したログ分析の開発を進めてきました。

当中間連結会計期間におきましては、引き続き、既存顧客との契約更新や新規パートナー企業の開拓に加え、自動車産業サプライチェーンに関わるセキュリティ運用サービス「NetStare for OT/IoT」、病院向けセキュリティ運用サービス「NetStare for Medical」に加え、クリニック等の小規模医療機関向けの「NetStare for Clinic」の販売、増大するランサムウェア攻撃への対策として、「ファイアウォール設定診断サービス」を開始しました。更なる新規市場への商材やサービスの開発、新規案件獲得に向けた取組みに注力いたしましたが、上期に予定していた既存及び新規エンドユーザーの多くの大型案件は、下期に受注する見込みとなりました。下期では、新規パートナー及びエンドユーザーの開拓を強化し、新機能等の商材やサービスでの売上向上に努めて、通期目標達成を見込んでおります。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高465,396千円(前年同期比8.9%減)、営業損失52,337千円(前年同期は32,804千円の営業損失)となりました。経常損失は、51,461千円(前年同期は35,666千円の経常損失)となりました。また、親会社株主に帰属する中間純損失は53,883千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益222,445千円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (a) 情報セキュリティ事業

当セグメントの主力である情報セキュリティ事業につきましては、ストック型サービスの契約更新、新規案件の獲得、SaaS形式のセキュリティソフトウェア「LogStare」シリーズの拡販に注力しましたが、売上高は366,768千円(前年同期比13.6%減)となりました。セグメント損失につきましては、2,033千円(前年同期はセグメント利益15,072千円)となりました。

#### (b) 人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、既存顧客への要員追加により、売上高は98,628千円(前年同期比14.2%増)、セグメント利益は、11,880千円(前年同期比61.9%増)となりました。

#### (用語説明)

**マネージド・セキュリティサポートプロバイダー**：取引先様のデータ保護に関する戦略を策定し、日常のセキュリティ運用管理及び監視するネットセキュリティ専門のプロバイダー。

**ゼロトラストセキュリティ**：モバイルやクラウドが日常的に利用され、リモートなどの働き方の変化で、従来のネットワークセキュリティでは対応できなくなり、「何も信頼しない」を前提に対策を講じたセキュリティ。

**ストック型サービス**：年間等の期間契約で、毎月定額で定型のサービスを提供するビジネス。

**SaaS (Software as a Service サービス)**：利用者がソフトウェアを導入するのではなく、提供者のサーバー内にあるソフトウェアをインターネット等を通じて、利用するサービス。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は1,247,158千円となり、前連結会計年度末に比べ186,839千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が164,636千円、売掛金が28,186千円減少したことによるものであります。

固定資産は58,724千円となり、前連結会計年度末に比べ10,119千円増加いたしました。これは、投資有価証券

が9,797千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は1,305,882千円となり、前連結会計年度末に比べ176,720千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は202,716千円となり、前連結会計年度末に比べ121,749千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が118,143千円減少したことによるものであります。

固定負債は12,487千円となり、前連結会計年度末に比べ347千円減少いたしました。

この結果、負債合計は215,204千円となり、前連結会計年度末に比べ122,096千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,090,678千円となり、前連結会計年度末に比べ54,624千円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が53,883千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.5% (前連結会計年度末は77.2%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日発表の業績予想を変更しておりません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,200,740	1,036,103
売掛金	145,812	117,625
原材料及び貯蔵品	2,478	2,478
前渡金	64,613	67,838
前払費用	19,646	21,569
その他	707	1,543
流動資産合計	1,433,998	1,247,158
固定資産		
投資その他の資産	48,605	58,724
固定資産合計	48,605	58,724
資産合計	1,482,603	1,305,882
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,223	15,227
未払金	14,064	11,754
未払費用	46,020	41,197
未払法人税等	125,045	6,902
未払消費税等	17,371	13,750
前受金	71,351	85,355
預り金	11,661	7,892
賞与引当金	16,719	19,082
その他	2,008	1,553
流動負債合計	324,466	202,716
固定負債		
資産除去債務	8,024	8,024
退職給付に係る負債	1,961	2,235
繰延税金負債	539	477
その他	2,308	1,750
固定負債合計	12,834	12,487
負債合計	337,300	215,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	627,580	627,580
資本剰余金	323,782	323,782
利益剰余金	191,954	138,071
自己株式	△123	△123
株主資本合計	1,143,194	1,089,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,228	1,087
その他の包括利益累計額合計	1,228	1,087
新株予約権	880	280
純資産合計	1,145,302	1,090,678
負債純資産合計	1,482,603	1,305,882

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	510,979	465,396
売上原価	295,049	305,903
売上総利益	215,930	159,493
販売費及び一般管理費	248,735	211,830
営業損失(△)	△32,804	△52,337
営業外収益		
受取利息	506	141
受取配当金	1	7
補助金収入	—	804
雑収入	135	0
営業外収益合計	643	953
営業外費用		
支払利息	115	76
持分法による投資損失	3,388	—
雑損失	0	0
営業外費用合計	3,504	77
経常損失(△)	△35,666	△51,461
特別利益		
投資有価証券売却益	350,081	—
新株予約権戻入益	—	600
特別利益合計	350,081	600
特別損失		
減損損失	—	1,485
特別損失合計	—	1,485
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	314,414	△52,347
法人税、住民税及び事業税	91,178	1,857
法人税等調整額	790	△321
法人税等合計	91,969	1,536
中間純利益又は中間純損失(△)	222,445	△53,883
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	222,445	△53,883

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	222,445	△53,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143,852	△140
その他の包括利益合計	△143,852	△140
中間包括利益	78,592	△54,024
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	78,592	△54,024
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	314,414	△52,347
減価償却費	6,113	—
減損損失	—	1,485
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	273
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,097	2,362
受取利息及び受取配当金	△507	△148
支払利息	115	76
持分法による投資損益(△は益)	3,388	—
新株予約権戻入益	—	△600
投資有価証券売却損益(△は益)	△350,081	—
売上債権の増減額(△は増加)	15,501	28,186
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,126	—
仕入債務の増減額(△は減少)	3,017	△4,995
前受金の増減額(△は減少)	9,045	14,004
その他	△1,192	△26,824
小計	1,785	△38,525
利息及び配当金の受取額	507	148
利息の支払額	△115	△76
法人税等の還付額	8,775	—
法人税等の支払額	△3,778	△114,847
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,175	△153,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,419	△320
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資有価証券の売却による収入	353,760	—
貸付けによる支出	△30,000	—
貸付金の回収による収入	3,000	—
敷金の差入による支出	△1,027	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	324,313	△10,320
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△975	△1,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△975	△1,014
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	330,512	△164,636
現金及び現金同等物の期首残高	769,488	1,200,740
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,100,001	1,036,103

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 連結損益計算書 計上額(注) 2
	情報セキュリティ 事業	人材サービス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	424,626	86,353	510,979	—	510,979
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	424,626	86,353	510,979	—	510,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	16,322	16,322	△16,322	—
計	424,626	102,675	527,301	△16,322	510,979
セグメント利益又は損失(△)	15,072	7,338	22,410	△55,215	△32,804

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△55,215千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II. 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 連結損益計算書 計上額(注) 2
	情報セキュリティ 事業	人材サービス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	366,768	98,628	465,396	—	465,396
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	366,768	98,628	465,396	—	465,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	19,835	19,835	△19,835	—
計	366,768	118,463	485,232	△19,835	465,396
セグメント利益又は損失(△)	△2,033	11,880	9,846	△62,184	△52,337

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△62,184千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、情報セキュリティ事業に係る減損損失1,485千円を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。